大量免疫グロブリン（IVIG）療法を受けられる患者さまへ

氏名：　　様　　主治医：　　先生　　担当看護師：

日付	月　　日	月　　日～　　日	月　　日～
経過	入院当日	入院2日～5日目	入院6日～
目標	副作用症状なく治療を受けることが出来る。		副作用症状なく経過し退院出来る
治療	点滴の針を挿入し、免疫グロブリンの点滴を行います。 副作用症状の出現に注意してこまめな観察を行います。 点滴投与中は心電図モニターを装着します。		免疫グロブリン療法は終了です。 頭痛や吐き気、皮膚の異常がないか 観察していきます。
内服	持参薬の確認をします。		
検査	必要時、採血などの検査が入ることがあります。		
説明指導	看護師が入院生活について説明します。 免疫グロブリンは血液製剤です。使用開始後はこまめな観察をするため看護師が 何度もお部屋に伺います。		遅れて皮膚症状が出現することが あります。
	副作用（頭痛・発熱・倦怠感・皮疹・掻痒感）等が 出現した場合には看護師まで報告してください		
安静	制限はありません。病状や身体状況により制限を変更することがあります。		
食事	制限はありません。基礎疾患（糖尿病・高血圧など）に応じた治療食をお出しする事もあります。		
清潔	点滴終了後（または点滴開始前）シャワーを浴びることが出来ます。シャワーを希望される方は声をかけてください。		

磐田市立総合病院

磐田市立総合病院
2022/09/12